



笑顔で初登庁する山元町長

町民憲章

- 一、常に新しい希望をもって郷土の開発に努めましょう
- 一、教育を尊び青少年を健やかに育てましょう
- 一、環境を清潔にし健康の増進につとめましょう
- 一、生活を工夫しよりよい風習を作りましょう
- 一、力を合わせねばり強く住みよい町を築きましょう

今月の内容

山元新町政スタート	2~3
第4回ふるさとまつり	4~5
ふるさと創生事業報告	6
ふるさとへの便り	7
贖いの日々	8
グレンのひとり言	9
町の話	10
お知らせ	11
新刊図書・ご寄付	12

今月の納税

県町民税 3期
保険税 3期

納税等は便利な口座振替を利用しましょう。

○支給金額
① 高年齢者雇用率が6%超し8%以下の場合 一人当たり3万円
② 高年齢者雇用率が8%を超える場合・一人当たり4万円
○支給申請の手続き
平成6年12月1日~平成7年1月31日まで
(社)宮崎県高年齢社雇用開発協会
宮崎市旭1丁目8-14
☎0985129105000

平成6年11月1日



サービス業基本調査

11月1日

総務庁では、11月1日現在でサービス業基本調査を実施します。近年、事業経営の多角化、ソフト化、家計消費におけるサービス支出の増大により、我が国のサービス産業の重要性がますます高まっています。この調査は、統計法に基づく指定統計調査として行うもので、サービス業事業所の従業者数、事業収入金額などの項目について、調査票に記入していただくものです。調査の結果は、統計表に取りまとめられ、国や地方公共団体における各種行政施策の基礎資料等として利用されます。調査票は、統計上の目的だけに用いられ、課税などの他の目的に用いられることは決してありません。10月下旬から調査員が調査票の記入をお願いに各事業所を訪問いたしますので、御協力ください。

ご利用ください！高年齢者雇用のための給付金制度

新刊図書のおしらせ

中央公民館では、次の図書を手しました。ぜひ、ご利用ください。

書名	著者名
【一般向】 那像日本の作家全二十三巻	加賀乙彦ほか
FBI心理分析官	R・K・レスラー
聊斎志異考	陳舜臣
雙蝶―透谷の自殺	永畑道子
私たちの伝説	中山千夏
私の岩波物語	山本夏彦
待つてました勘九郎	中村勘九郎
読むクスリ21	上前淳一郎
民具の世相史	岩井宏實
生命40億年はるかな旅―二巻	NHK取材班
懐かしい人々	吉行淳之介
泉光院江戸旅日記	石川英輔
【小・中学生向】 友情の円陣	森薫
若さいのちへの旅	及川和男
妖怪パンシーの本	アン・ファイ
大噴火とよみがえる自然	パトリシア・ローバー
めざせ！Jリーグ 全六巻	田中館哲彦
みんなで守ろう世界の文化、自然遺産 全七巻	小川英雄

11月の休館日 (中央公民館図書室)

週	日	月	火	水	木	金	土
①			1	2	3		
②		7	8				
③		14	15	16	17	18	19
④	20	21	22	23	24	25	26
⑤	27	28	29	30			

数字は休みの日。11月16日から11月30日まで蔵書整理点検のため休館します。



日づけのあるお話三六五日
全12巻
谷真介

【幼児向】
プルブルのたまご 塩田守男
いちごばたけでつかまえた 清水達也
いっぴきおおかみのそりり 福田岩緒
月夜のじどうしゃ 渡辺茂男
だごごころころ 梶山俊夫
あらしのあとで ニック・パトワース

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通りいただきました。故人のご冥福をお祈りいたしませと共、社会福祉発展のために有意義にご利用させていただきました。誠にありがとうございました。

平成6年9月1日から
平成6年9月30日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
去川ミツ	夫	政則	梶山	5万円
平原國樹	母	福島エリ	84 豊池	5万円
武田昌三	母	ハル子	76 高畑	5万円
岩崎隆一	母	セク	80 勝岡	20万円
隈元益男	母	イツ	76 寺柱	3万円
本村チ子	弟	重行	72 飯屋	2万円
長友隆義	母	ソナ	91 櫻田	5万円
園田善江	夫	昌万	65 飯屋	2万円

三股町の人口

平成6年10月1日現在
男 10,735人 出生 15人
女 11,821人 死亡 16人
計 22,556人 転入 80人
前月比+22人 転出 57人
世帯数 7,702戸(+10戸)

山元新町政がスタート

第十四代町長に就任

「やさしいまちづくり」めざして

初登庁は9月26日



町長室にて初仕事

任期満了に伴う先の町長選挙で、山元勝博氏(59)が当選し、九月二十三日、第十四代の三股町長に就任しました。

山元新町長は二十三日が連休と重なったため、二十六日に初登庁午前八時四十分、役場正門前で女子職員から花束を贈られた後、全職員が拍手で出迎える中を入庁しました。

引き続き行われた就任式で、『町民に直接ふれあい、生の声を聞いて、改めて町民が何を求めているかを知り、町政を担当する者の自覚とその責務の重大さを痛感しております。』町政は常に町民とともにあって町民とともに歩む」という気持ちを大切にして2万2000人町民福祉のため取り組んでいきたい。また、何より大切なことは私を含めた職員「和」であり、行政に対する創意と工夫であり職員の皆様からの心のお力添えをお願いします。自分自身が納得できる仕事をするには、知識とともに壁を乗り越える気力と粘りが大事。新鮮で大胆な発想を期待します。』とあいさつされました。



議会で所信表明をする町長

第5回町議会定例会(九月定例会)は九月三十日に招集され、十月十二日までの十三日間にわたって開かれました。

定例会の初日、山元町長は所信表明を行い、今後4年間の町政運営に対する基本姿勢と当面する町政の重点目標を明らかにしました。

この中で町長は、「やさしいまちづくり」づくりをめざして、『町民との対話と協力を図り、町民の声を町政に反映させ、町民全体に奉仕する精神に徹し、誇れる三股町の再生をめざす』と力説。続いて、当面する町政の重点目標として

1. 人にやさしい町づくり
○町民に安心してもらえる町政の推進
○お年寄りや社会的に弱い立場にある人々が安心して過ごせる豊かな福祉の町づくり
○「文教の町三股町」の復活を目指すための諸施策の推進と喜びと生きがいを感じる生涯教育の場づくり
2. 自然にやさしい町づくり
○「花と緑と水の町」三股町の自然を大切に、自然と共生できるレジャー施設等の整備
○「住み続けていきたいまち」三股町の建設のため、住環境の整備と農業を中心とする生産基盤の整備
3. 活力のある町づくり
○恵まれた風土を生かし、若者が誇りをもって定住する農畜産業の振興を図り、よって農村の購買力を高め、併せて商工業の活性化と振興を図るための諸施策の推進の三項目を上げられました。

町長が町民の皆さんに約束した広範にわたる公約の実行により、明るい町政、住みよい郷土の建設へと一段と躍進することでしょう。これが私達全町民の願いでもあります。

また、私達も今後町政に対する理解を一層高め、協力し合い、「やさしいまち」三股町の建設に邁進したいものです。

町議補選で

小牧利美氏
長尾鈴子氏

町長選挙と同時に行われた町議会議員補欠選挙で、小牧利美氏(60)と長尾鈴子氏(45)が無投票当選を果たしました。



長尾 鈴子氏 小牧 利美氏

教育委員に

永吉時治氏を再任

10月8日で任期満了になった教育委員に、永吉時治氏(65)が再任されました。



永吉 時治氏

就任あいさつ



町長 山元 勝博

町民の皆様のおかげで、ご支援・ご協力によりまして、今後4年間、町長として伝統ある三股町政を担当することになりました。心から厚くお礼申し上げます。この度の選挙を通して多くの町民の皆様にお会いし、また生

退任のごあいさつ



福永 昌徳

去る9月22日をもって任期満了により三股町長の職を退任いたしました。在任中は微力ながら「豊かで住みよい活力あるまちづくり」のため誠心誠意努めて参りました。この間、町民の皆様には暖

の声をお聞きし、改めて政治を志すもの自覚と町民が何を求めているかを見にしみてひしひしと感じるとともに、町長の責務の重大さを痛感しております。もとより微力ではございますが、皆様から寄せられた信頼と期待に応えるため、情熱をもって「やさしいまちづくり」に全力を傾注していく覚悟です。どうか一層のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつといたします。

かのご指導お力添えを賜り、職務を全うすることができましたことをここに謹んで厚くお礼申し上げます。

今後は一町民として三股町の発展のため、いささかなりとも尽力したいと存じておりますので今後とも変わらぬ交誼を賜りますようお願い申し上げます。

皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、退任のごあいさつとお礼にかえさせていただきます。

モーニングフォーラムへのご協力

ありがとうございました

「あなたの声を町政に」をスローガンに平成4年9月スタートしたふれあい行政モーニングフォーラムも今年9月をもって終了することになりました。この間、25回のフォーラム開催、約200名の出席をもって、魅力あるまちづくり・地域づくりへのアイデアや意見・提言などをいただきありがとうございました。すぐ実行できること、しなければならぬこと、長期的視点に立ち考えなければならぬこと、農林商工業の振興に

9月22日をもって、退任することになりました。在任中は微力ながら町政発展のため取り組んで参りました。この間、町民の皆様には暖かいご指導ご鞭撻を賜り職務を全うできましたことをここに謹んで厚くお礼申し上げます。

今後は一町民として町政の発展を見守っていきたく思います。皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、退任のごあいさつとお礼にかえさせていただきます。

小倉 誠
桑畑 和男

町議会を

傍聴しませんか？

町議会の定例会は、毎年4回(3・6・9・12月)開かれ、本会議(臨時議会を含む)はどなたでも傍聴することができます。傍聴の手続きは、議会に備えてある受付簿に住所・氏名・年齢を記入するだけ。自分の住んでいる町の議会・・・あなたも一度、傍聴してみませんか。

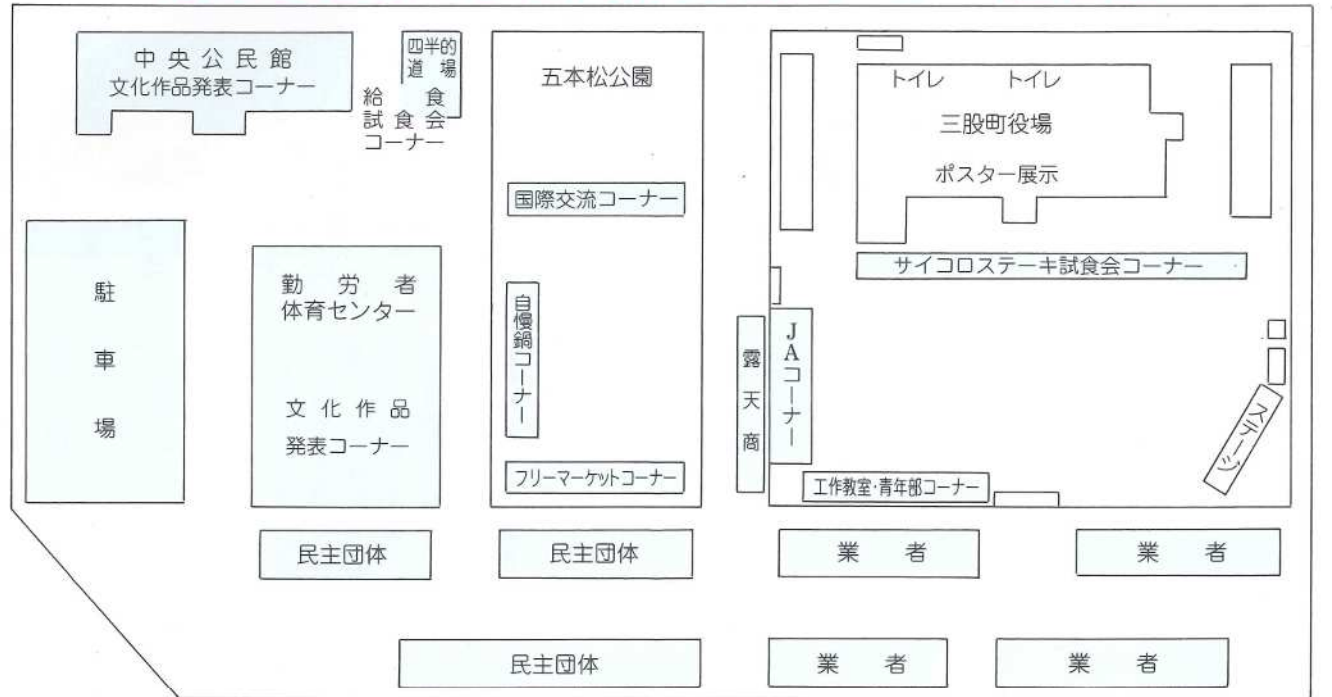
但し、定員30名を越える場合など、入場が制限されることがあります。ラジオやカメラ等の持ち込みは、議長の許可を必要とします。

ふるさとまつり

期日 11月12日(土)・13日(日)

第4回

ふるさとまつり会場及び各コーナー位置図



楽しい企画がいっぱい

メインステージのプログラム

11月12日(土)	11月13日(日)
9:00	9:30 文化協会舞踊 (60分)
10:00	10:00 アメリカン・マジックショー (30分)
11:00	11:00
12:00	12:00 カラオケ歌合戦 (60分)
13:00	13:00 新沼謙治歌謡ショー (30分)
14:00	14:00 郷土芸能 (60分)
15:00	15:00 アメリカン・マジックショー (45分)
16:00	16:00 お楽しみ抽選会 (45分)
17:00	17:00

12日(土)

パレード

12:00 発出

オープニングに先立ち、12時から小学校鼓笛隊、保育園、幼稚園、子供会、婦人会、なかよしグループなど各種の団体が参加。手作り

のみこしや仮装など創意工夫を凝らした装いで約1・1キロをパレードする。

コースは、早馬公園→町立病院→三股中運動場東側→テニスコート前→農業共済組合三股支所前→メインステージ

三遊亭歌之介独演会



鹿児島県大根占町出身の三遊亭門下の真打落語家。

入門9年目で真打昇進の大抜擢を受け、平成3年には国立演芸場・花形演芸大賞金賞を受賞。テレビやラジオ番組にも出演があり、鹿児島弁によるユニークな落語が大人気で、子供から大人まで楽しめます。

13日(日)

アメリカンマジックショー

過去30年にわたり、アメリカ各地でショービジネスを行ってきた父・菊池豊のもとで、地道に修行を積み、アメリカの大会などで活躍。従来のマジックとは違うスタイルで、若さならではの自由でリズムカル、かつダイナミックなステージで新風を吹き込む、日本では数少ない若手マジシャン。動物を使ったマジックや、人体早変わりなど大がかりなショーが楽しめます。

カラオケ歌合戦

MRTラジオ公開録音

ゲスト歌手に新沼謙治さんを招いて、カラオケ歌合戦が行われる。カラオケ大好き人間、歌に自信のある人が出場し、ふるさとまつりチャンピオンを目指す。

なお、歌合戦の様子はMRTラジオが公開録音する。

郷土芸能

町内に踊り継がれている迫力のあふ、棒踊りや俵踊りなどの郷土芸能を保存会が披露します。

お楽しみ抽選会

まつりのフィナーレを飾る抽選会は午後4時からの予定。豪華賞品など約100本が当たる。

都城地区学校給食展示

12・13日の両日、四半的弓道場

ゲスト歌手の

新沼謙治さん



プロフィール

昭和31年岩手県生まれ。特技はバドミントン・空手、趣味はレース鳩。昭和51年「おもいで岬」でデビュー。同年「嫁に來ないか」が大ヒットして、日本レコード大賞新人賞、昭和52年には日本歌謡大賞放送音楽賞を受賞。「ヘッドライト」「津軽恋女」など数多くのヒット曲がある。現在は、テレビや映画にも出演し、幅広く活躍している。

国際交流コーナー

本町の国際交流員グリーン・アンダーソン氏を中心に、都北国際交流クラブのメンバーを招き、母国の手作りデザートを作ってもらいます。

会場に來られた人に試食をしてもらいながら、楽しい会話が楽しめる国際交流コーナーです。

地場産品販売コーナー

商工会の会員が路上100メートルで地場産品の販売をしたり、PTAや社会福祉協議会などがバザーなどの催しを行う。また、町内で創業している誘致企業が製品を展示・販売する。

JAコーナー

町内の農産物や農産加工品が即売されるほか、SAPコーナーなどが設けられる。

レクリエーションコーナー

町商工会青年部による、ミニバスケットなど子供たちが楽しく遊べるコーナー。

文化作品発表コーナー

書道や絵画、生け花、手づくり工芸品など町民の力作が、勤労者体育センターと中央公民館の2個所で展示される。

木に親しむ(林研)コーナー

毎回、本町の林研グループによる親子工作教室(無料)を行っているが、今回は工作教室に加え、手づくり木製品でできた木製ボーリングコーナーを新たに設けました。



サイコロステーキ 大試食会

(空き缶一個と引換券を交換)
メイン会場に長さ101メートルの焼肉台が設置され、和牛のサイコロステーキが食べられる。肉は最上級の都城牛一頭分で、今回は環境美化活動の一環として、空き缶一個と引換券を交換、一人一串に限定。
13日10時より空き缶と引換券の交換(先着2,000名)
11時より試食会

ふるさと創生1億円 事業報告

平成元年度、自ら考え自ら行う地域づくり事業の一環として国から「ふるさと創生資金」1億円が交付されました。この使い道については、一般からアイデアを公募したところ町民の皆様から103件の提案事項が寄せられました。町では各種団体等の代表者で構成する「ふるさと振興事業推進協議会」を設置し、種々審議検討を重ね、次の事業が三つの柱として決まり現在実施または事業完了したところです。

○人材の育成事業 ○伝統文化の継承と活用事業 ○観光振興とレジャーランド開発事業

事業を実施するため、1億円をふるさと振興基金、人材育成基金、伝統文化継承基金にそれぞれ積立て、幹事会（助役、企画調整課長他8名の課長で構成）の決定を得て、基金の取り崩しまたは基金の果実をもって事業を行っています。

1. ふるさと振興基金

地域経済の活性化をめざすため、観光・レクリエーション施設等の整備計画を策定しました。まず、上米公園から長田、椎八重公園の観光ルートの航空写真撮影に取り掛かり、次に三股町観光地域整備基本計画の策定、そして上米公園を本町のメイン公園としての整備を目指す基本設計を行ったところです。



2. 人材育成基金

情操豊かな人間形成を目指し、魅力あるまちづくりの担い手を育成するため、基金の果実をもって農業担い手の海外研修、小中学生の北海道研修、日中友好青年の船等の参加助成などに使っています。

3. 伝統文化継承基金

地域に根ざした伝統文化活動（伝統芸能等）を記録、継承するため郷土芸能士の編纂や郷土芸能保存会への活動助成、小中学校の郷土芸能用具の購入補助を行いました。



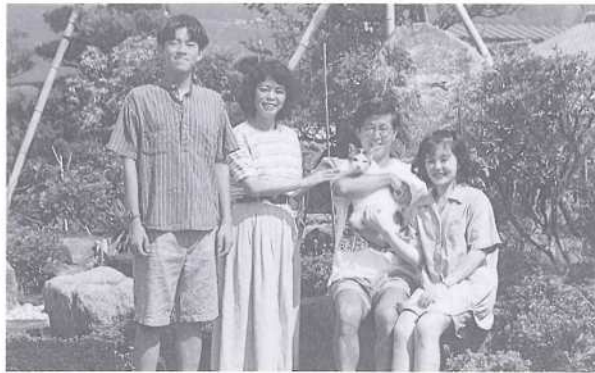
ふるさと創生事業費の実績

基金名	実施事業内容・事業費	千円	基金現在高 千円
ふるさと振興基金 (20,000千円)	2年度 公園基金計画航空写真撮影委託料	5,217	0
	3年度 観光公園基本計画策定業務委託料	7,000	
	5年度 上米公園基本設計委託料	13,382	
人材育成基金 (55,000千円)	2年度 ニュージーランド海外研修補助金	1,755	58,286
	3年度 小中学生北海道研修補助金(20名)	2,073	
	4年度 小中学生東京研修補助金(20名)	2,073	
	韓国への翼参加補助金(7名)	259	
	5年度 日中友好青年の船参加補助金(2名)	72	
伝統文化継承基金 (25,000千円)	2年度 小中学生北海道研修補助金(20名)	1,854	12,277
	日中友好青年の船参加補助金(1名)	36	
	2年度 郷土伝統芸能継承補助金	5,000	
	郷土芸能誌編纂事業	1,268	
	3年度 郷土芸能誌編纂事業	2,682	
	小中学校郷土芸能用具購入補助金	1,024	
	郷土芸能誌印刷事業	4,273	
郷土伝統芸能継承補助金	1,000		
4年度 小中学校郷土芸能用具購入補助金	1,000		

ふるさとへの便り

福原 咲子 (47)

〔旧姓・宮本(東原出身)〕



木々も少しづつ色づき始め、澄み渡った秋空の気持ち良い毎日となりました。

三股町の皆様、そして、各地で活躍の皆様お元気でお過ごしのことと存じます。

前号で書かれた嶋田さんから電話をいただき、軽くお引き受けはしましたものの、さて、どうしようと思っていた処に、友達や両親から励ましや心配りの電話で、

多くの方に読まれていることを改めて知り、身の引き締まる思いを書かせて戴いております。

私の両親は愛媛の出身で、昭和26年、宮崎の綾より引っ越ししてきて以来、43年になっていますが、私だけこちらで暮らしています。両親は今まで愛媛言葉が時々出て、私のように完全な三股弁ではありませんが、町民として皆様と仲良くして戴き、遠く離れている私は大変嬉しく思っています。

父は現在78歳ですが、7年前から始めたゲートボールが何よりの楽しみで、私の同級生の宮原さん、丸田さん、山田さんのお父様方、米山さんのお母様やお仲間の方々のお陰で本当に楽しく過ごしています。電話の度、必ず話が出て、元氣溢れるその声は隣でしゃべっている感じがします。ただ、大変話が好きで、お忙しい方の場合にはご迷惑と思われることもありますが、もしも私に、丁度良い機会、この場をお借りしまして娘の私から一言「申し訳ありません、よろしく願います」と書かせてくださいませ。母も同級生、丸田さんのおかあさんから民謡と踊り等教えて戴いています。この夏、私

が帰っていた時もよく練習をしていました。お稽古の日には料理の話や、おしく作って入らしたのをいただいたり、色々な話も出たりで社交の場でもあるようで、母も皆様のお世話になりながら週3回その日を楽しく過ごしています。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

私も8年程前から、主人と一緒にテニスを楽しんでます。太陽の下、汗を流したり、親しくさせて戴いている皆様方との語らひは例え様もなく楽しいもので、私の活力源となっています。又、近くには、戦時中の海軍無線学校の後がりつばな県立公園になっており、その中に1周1キロのジョギングロードがあるので、時折走るのも大変気持ちの良いものです。

東京で開かれる三股会には、まだ出席したことはありませんが、先日、御世話下さる石坂様から葉書をいただき、今回は是非出席させて戴こうと思っています。5年程前から二次会を三股中37年卒の同窓会として開かれるようになって、集まる人は大体10人程ですが、そちらには毎回参加しています。丁度3年前、その発起人であいらした内村朋子さん(旧姓山下)が亡くなられたのは、大変悲しいことでしたが、御二人の息子さんも元気に頑張っていっています。

遠く過ぎてしまった日の事を共通の話題として話すことのできる同窓生との出合いは、こちらであればことさら嬉しく、挨拶は「元氣やっただね」で始まります。そして春、丁度桜の咲く頃、中学の時、美術を教えてくださった阪口先生が上野の美術展の審査員をしてお見えになりますので、その時も集まれます。私達の卒業後、30年立ってもこのように皆様と年2回もお会いできるのは、面倒なお世話役を引き受けて下さる嶋田光男さんと、かな文字の大家として大変活躍されている大石三世子さん(旧姓林)の御尽力によるものです。今回は10月29日に二つの会で多くの三股の方々とお会いできるのを楽しみにしています。

先日、「田んぼは稲穂がよいく実って黄金色じゃよ。今度又、米をおくるからねえ。」と元氣な姉からの電話がありました。ニュース等で聞いてはいましたが、今年は豊作で何よりです。主人の仕事の関係で以前、米国で暮らした折、毎日食べていたのが「国宝」という銘柄のカリフォルニア米でした。アメリカでこんなにおいしい御飯が食べられるなんて、私は感激すらしたものでしたが、今ではやはり三股の米の方をおいしく思います。

急ぎ書かせて戴き、取り止めの急ぎ書かされたが、一通り終えましてホッとしていますと同時に、最初の緊張感はどこへやら、今では皆さん・皆さんの様、私も百才迄元氣でいられたらもう一度書かせて戴きたいという厚い気持ちにもなっております。このような機会をくださいます。ありがとうございます。感謝いたします。

最後になりましたが、三股町のますますの発展と皆様の御健康を心より祈ります。

次は、鮫島康子さん(旧姓・桑畑、山王原出身)にリレーします。



紙面国際交流コーナー

さて今回は、Word Search (言葉さがし) というのを試していただきたいと思いますが、さがしていただく言葉は、アメリカのNewEnglandという東北地方にある6つの州名。

アメリカの地図を見ながら挑戦してください。

なお、New York州、New Jersey州、または、Pennsylvania州はNew England地方に入っていません。

言葉は、たて、よこ、ななめ、そして逆に並んでいます。

N	E	W	H	A	M	P	S	H	I	R	E	P
T	G	G	W	F	T	R	E	O	X	C	O	D
A	U	E	A	W	N	I	M	G	O	I	N	G
N	H	C	V	N	D	O	S	H	B	A	J	H
I	M	A	I	N	E	W	H	A	L	M	P	O
W	Y	Z	D	T	T	T	E	S	M	S	Q	M
M	A	S	S	A	C	H	I	V	G	P	I	E
U	G	X	V	S	B	E	E	O	I	F	S	N
M	H	U	U	U	D	R	N	C	L	T	X	E
J	K	C		O	M	E	V	N	X	E	A	L
I	L	T	H	O	T	Z	D	P	O	J	Z	G
F	B	R	N	S	M	Y	R	K	A	C	Q	K
S	T	T	E	S	U	H	C	A	S	S	A	M

グレンのひまわり



帰郷

きょうから里帰りします。2年3ヶ月ぶりになります。「楽しみにしていく」と言いたいんですが、実は準備などで忙しくて楽しみにする暇はまだできていないのです。飛行機に乗ってからゆっくりと楽しめるかなあ。

2年間でいろいろ変わっていると思いますが、ぜんぜん変わっていないところもあるでしょう。というのは当り前なんですけど、どこ

がどうゆうふうに変わっているのかわからなくて不安です。連絡のとれなくなった友達と会えるかなあ。皆元気にしてるかなあ。まあ、とにかく行ってみたいとわからなから行ってきます。



贖いの日々

スピード狂の悲惨な結末

学生 26歳

当時、私は大学3年でした。その朝は、提出日に間に合わせようと徹夜で取りかかっていた課題の製図がどうにも行き詰まってしまい、気分転換をかねて車を走らせに出ました。同じ課題を抱えている友人のところへでもと立ち寄ってみましたが、朝の六時半では、寝ていても当たり前です。

そのまま学校の脇にのびる通い慣れた一直線の道を、時速100キロ以上のスピードで走り抜け、見通しの悪い左カーブに差ししかか

りました。軽くブレーキを踏んでシフトダウン。いつもそのパターンだと思ったとき、対向車が現れたのです。あわててハンドルを大きく左に切ってしまい、内側のガードレールへ。その反動で今度は右に切ったとき、目の前に人がいました。ぶつかる瞬間、その人と目が合いました。

その後土手に乗り上げて横転し、逆さになった車から這い出した私は、車の横でくったりしているお婆さんに駆け寄りました。何度呼び掛けても反応がありません。救急車が来るまでの数分間に、お婆さんの体はほとんど冷たくなっていました。しかし、私にはどうすることもできませんでした。そして、いつもならまだ寝ている朝の八時すぎ、私は留置場の中で声を出して泣いていました。泣いても泣いても、涙が溢れ出てきて止まりませんでした。

取り調べが終わった翌日の夕方、保釈になった私は、その足で被害者宅へ伺いました。大勢のご遺族のなかで茫然自失していた私は「たった一人の母だったんです。反省してください。」という声で我に返り、両親とともにただ頭を下げるのが精一杯でした。

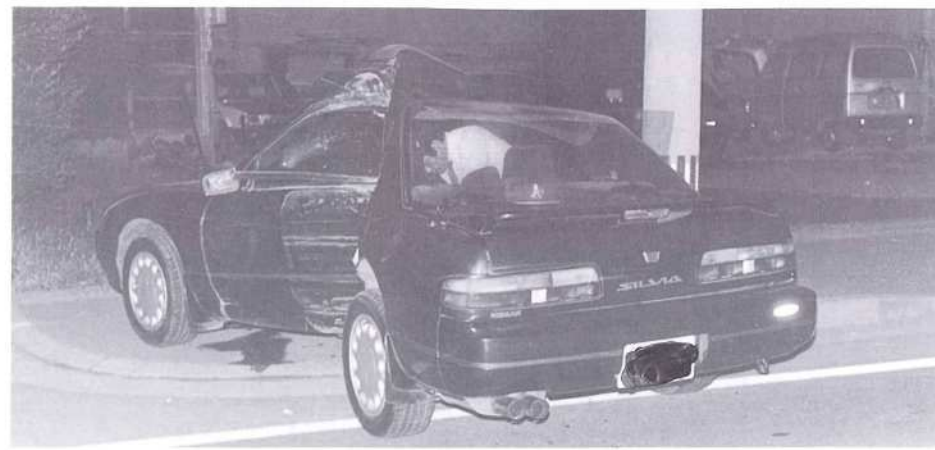
被害者の方は六十九歳で、私の友人もいる下宿を経営している息子さん夫婦と一緒に、楽しい毎日を送っていたそうです。その日は朝早くからゴミを燃やしながら出て、歩道を歩いていたところを、暴走してきた私の車に跳ねられ亡くなられたのです。

今回の私の事故の直接の原因は過労運転、スピードの出し過ぎによるハンドル操作の誤りということになるでしょう。しかし、何よりもそれは、私の車社会に対する考えの甘さによるものだと思います。

私は、今にして思えば凄まじいくらいのスピード狂でした。バイクでも車でも、とにかく飛ばせるところではおかまいなしに飛ばしていました。

むしろ、これまで大きな事故を起こさなかったのが不思議なくらいです。私はいつも「俺だけは大丈夫だ。」と思っていました。「事故するのは下手な奴だ。」くらいにしか思っていないませんでした。

私は、ただ単に運良く生き延びてきただけだったので、私は昨春、何とか大学を卒



(東京交通安全協会発行「贖いの日々」第28集より)

業し、今は自由を奪われてはいませんが、五体満足に生きています。まだやり直す機会もあります。しかし、亡くなられた方は二度と帰っていきこうと、この事実だけは消すことはできません。

ハンディキャップ体験に

参加して

三股小4年3組 福田愛子

7月27日は、首を長くしてまっていたハンディキャップ体験の日でした。

ハンディキャップ体験というのは、目や口、足や手、そして体の不自由な人がどんなにつらいか、そしてどんなにたいへんかをみんなに知ってもらい、私たちにできることはなにかあるのか、それを考えるための体験のスクールでした。

初めにいろいろ話を聞いて、いよいよ体験がはじまる時がきました。私たちはいくつかのグループに分かれて、手話、耳、目、手や足の体験をしました。私は、車イスに乗るときおもしろそうだなと思いましたが、でも、実際にやってみると、すごくむずかしいです。とくに曲がるときなんかは、ぜんぜんまがってくれませんでした。

目の体験も、すごくたいへんでした。それは、目かくしをしてつえをつき、トイレットまで行って手をあらうみ、紙コップをすてるというものでした。目の見える人が手をつないでついでい



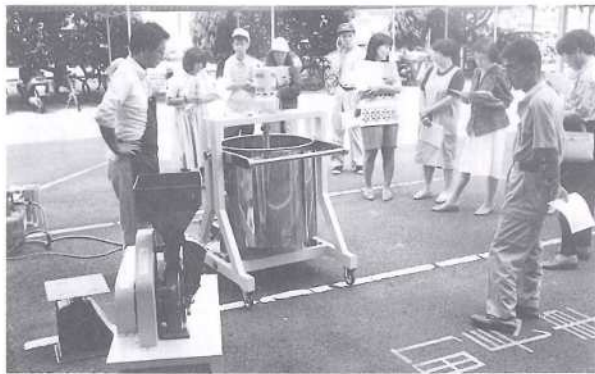
るのですが、私はとても不安でした。前には人がいないか、何か物をおちていないか、そういうことを考えて、一歩づつ、一歩づつ進んで行きました。そして、やっとたたみにすわって休けいしました。みんなは、疲れたとか、おもしろかったとか言っていました。

私は、この体験を通して体の不自由な人がどんなにたいへんかわかりました。

今まで私が平気でやっていたことも、もし体が不自由になれば、一人ではとてもできそうにありません。私は、これから自分のちかくに体の不自由な人がいたら助けたいと思います。そして、仲よくしたいと思います。

交通安全
今日も笑顔で
ゆずりあい

平成6年8月31日現在
交通事故(人身)
発生順位
県内 35位
(県内44市町村中)



廃食油から

粉石けんを！

川の汚れの主な原因は家庭排水です。その中でも台所排水は約40%を占めます。使用済みの天ぷら油(500ml)を排水中に流すと魚が住める水にするために風呂桶(300l)で、330杯の水が必要で、使用済み天ぷら油から石けんを作る運動が各地で盛んに行われています。本町でも、生活排水対策の一環として廃食油石けん・ミニプラントを購入しました。廃食油石けんを作った見たいと思われ方やグループは役場町民生活課まで

そこで、使用済み天ぷら油から石けんを作る運動が各地で盛んに行われています。本町でも、生活排水対策の一環として廃食油石けん・ミニプラントを購入しました。廃食油石けんを作った見たいと思われ方やグループは役場町民生活課まで

☎ 11111 (内線112)

県操法大会

第2部優勝

県消防操法大会は9月13日、県消防学校で開かれ、第2部が優勝、機動本部と第6部が上位入賞を果たしました。大会には、ポンプ自動車の部に13チーム、小型ポンプの部に9チーム、小型ポンプ積載車の部に10チームが参加。大会は3種目同時に実施され、それぞれ都支部代表に恥じない一糸乱れぬ操法を展開しました。優勝を逃した機動本部、第6部とも接戦の末、僅差で優勝を逃しました。



青壮年で十五夜を！

餅原青壮年(会長初森春夫会員16名)は、21日十五夜を開催しました。幼児から小学生による相撲大会、地区民全員による綱引き大会が盛大に行われました。土俵の綱・綱引き用の縄は10日間かけて仕上げたということです。



名前入り湯飲み

高齢者へ



長田のやきものの宮陶さん町内のお年寄りに贈ってください。いと、やきものの宮陶を営む宮田兼重(66)重昭(41)さん父子が14日、湯飲み千五十三個を寄贈されました。

今回は創立10周年を迎えることと重昭さんの厄払いを兼ねて、町内の77歳以上の高齢者に名前入りの湯飲みをプレゼントされました。町長室であった贈呈式で町長が「福祉・高齢社会の中でボランティア精神を発揮した活動に感謝します。これからも地域、町づくりに力をお貸しください」とお礼を述べられました。

ひまわり作業所に

物品を寄贈

自動車総連宮崎地方協議会(下沖好博議長)は2日、生活・作業用物品80万相当を寄贈されました。

この作業所は6月30日に開設した。町営住宅を払い下げたもので設備が不十分であったため今回の寄贈となったものです。物品はルームエアコン、ミシン作業用テーブル、ロッカー、アイロン、掃除機など。ひまわり作業所では、現在5名が通所し、生ゴミを良質な有機肥料として活用できるEM菌ボカシづくり等に頑張っています。



町和牛品評会

ブランドチャンピオンに

11月 新地 信男さん
12月 別府 信子さん

9月21日、町畜産センターにおいて11月、12月セリに出される和牛品評会が行われ、11月セリの部で新地信夫さん(かずこ)・12月セリの部で別府信子さん(ふゆみ)がそれぞれブランドチャンピオンに輝きました。結果は次のとおりです。

- 11月セリの部(出陣数17頭)
 - 優等2席 指宿 秀秋(下 新)
 - 3席 大盛ヒサエ(前 目)
 - 4席 村尾 稔(大鷲巢)
- 12月セリの部(出陣数26頭)
 - 優等2席 中西 初男(樺 田)
 - 3席 今村 敏博(田 上)
 - 4席 桑畑 節(下 新)

県畜産共進会へ

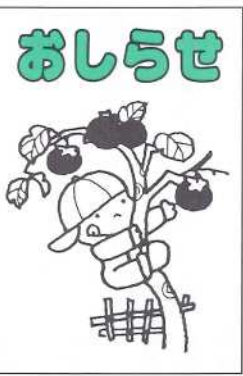
- 乳用種牛の部
 - 福永 愿(蓼 池)
 - 北畑 和徳(蓼 池)
- 肉牛枝肉の部
 - 馬渡 芳文(宮 村)
 - 森 繁春(蓼 池)
 - 別納 軍一(田 上)
 - 児玉 輪(飯 屋)



別府 信子さん



新地 信男さん



県立中部高等学校技術
専門校の在校生募集

願書締切 10月25日(火)
選考日 11月11日(金)
訓練科名
電子機器科・電器設備科
OA事務科・建築技術科
募集人員 各科20名
入校資格
高校卒業者(平成7年3月卒業見込みの者を含む)又は同等以上の学力を有するもの
問い合わせ
高鍋町大字南高鍋1770
☎098312310523

吃音(どもり)者のつどい

日時 11月27日(日)
午後1時～4時
場所 宮崎市中央公民館
対象者
吃音者(言葉のどもる方)及び吃音問題に関心のある方
定員 30名
参加費 無料

講義「吃音に関する基礎知識」
問い合わせ・参加申込先
宮崎市学園木花台南3-17-14
☎09855584945
(本田大道)

高齢者雇用促進月間
10月1日～31日

「いま60・拡げる雇用は65歳」
本格的な高齢化社会の到来を迎え、高齢者の雇用就業の場の確保が最重要課題となっています。労働省では全国一斉に10月を高齢者雇用促進月間として、高齢者の雇用促進を行っています。高齢者の優れた技能と経験を活かしましょう。

税を知る週間
11月11日～17日

1、雇用促進及び定年延長のための企業訪問
2、高齢者の雇用促進大会
京 唄子さんが講演
日時 11月14日(月) 午後1時
場所 都城市民会館
講師 京 唄子(女優)
演題 「花もあらしも踏み越えて」
※無料ですが、入場整理券が必要です。券は税務課、都城商工会議所にあります。

最低賃金のお知らせ

平成6年10月1日から産業別最低賃金が適用されない全ての労働者に適用される最低賃金(地域賃金)が改正されました。
日額 4,324円
時間額 541円
※詳しくは、都城監督署へ
☎09862310192
テレホンサービス
☎098512314811

自治大臣への提案ファックス
ふるさとファックス設置

自治省では、広く国民の皆様から、地方公共団体や地方自治に関する制度をはじめ、地方税、地方財政、選挙制度、地方公務員、消防、ふるさとづくりへ向けた地域活性化など、地方行政に対する自治大臣への積極的なご提言をいただくため、「自治大臣への提案ファックス」ふるさとファックスを設置しました。皆様方の積極的な提言をお願いします。
ファックス番号
03135816987
受付時間 午前9時～午後6時
(土・日・祭日を除く)
問い合わせ先
自治大臣官房広報室 広報係
☎03135910279